

## 令和5年度 狭山市立西中学校 学校経営方針

はじめに

**自立と自律（自立のために、自律できる力を身につける学校）**・・・目指すべき責務

**安全と安心（安全が守られ、安心して通える学校）**・・・・・・・・・・最低限の責務

### 1 目指す学校像《ミッション》

**「入学前には憧れ、在学中は安心でき、卒業後は誇りに思える学校」**

### 2 目指す生徒像

**「自立のために、自律できる生徒」 二つのジリツ「自律と自立」**

そのために、西中生徒の合言葉

凡事徹底(当たり前前を当たり前前)でできる) 挨拶・清掃・素直

### 3 学校教育目標

自主的に考え、正しく行動できる生徒

- ・真剣に学習に取り組む生徒
- ・思いやりのある生徒
- ・心身ともに健康な生徒

### 4 目指す教師像

- (1) 率先垂範し、態度で示す教師
- (2) 謙虚に改善する教師
- (3) 誠実に協働する教師
- (4) **頼りになる教師**

### 5 教職員の心構えとして

- (1) 判断するときは、「生徒にとってどうか」を最優先に考えてほしい。
- (2) **「規範意識の醸成」「落ち着いた学校生活」こそが、最大の学力・体力の向上策である**
- (3) 生徒ができない理由を、他に求めず、私たちの責任だと考えてほしい。  
(私たちが最後の砦だという自覚と誇りをもってほしい。)
- (4) 「凡事徹底(当たり前前が当たり前前)ができる生徒」を育成するためには、教師が「凡事徹底」とは何かを具体的に理解し、身をもって実践する必要がある。
- (5) 信頼は誠意と行動なくしては得られないと考えてほしい。誠意とはスピードである。
- (6) **危機感の共有こそが、最大の課題である。**
- (7) **職への誇りと、立場の自覚を・・・経験や年齢を重ねるにつれ、果たすべき役割は増える。**
- (8) **風通しの良い学校・職員室 = 笑顔があり、愚痴や弱音を言える職場**
- (9) 正義の通る学校づくりは、正義の通る職員室からはじまる。
- (10) 健康を大切に

## 6 学校経営の基本方針

- (1) 「安全」を守り、「安心」を与える学校・・・感染症予防の徹底 いじめの予防・早期対応
- (2) 積極的な生徒指導を展開する学校・・・不登校の予防と対応**
- (3) わかりやすい授業を構築する学校・・・ICT機器の効果的な活用
- (4) 相互感化の関係を構築する学校・・・報告・連絡・相談の徹底
- (5) 教職員の働き方改革を推進する学校・・・教育活動の精選と業務改善**
- (6) ギガスクールの推進・・・生徒支援と教職員の負担軽減**
- (7) コミュニティ・スクールの推進・・・生徒支援と教職員の負担軽減**

## 7 学校経営方針の具体

- (1) 「安全」を守り、「安心」を与える学校
  - ①予測し、早期発見でき、適切な初期対応ができる
  - ②いじめを根絶する
  - ③不登校予防と不登校生徒への支援の充実**
  - ④非行・問題行動への毅然とした対応ができる
- (2) 積極的な生徒指導を展開する学校
  - ①伝わりやすい指示・指導（言葉・態度）ができ、生徒を変容させられる
  - ②事前指導（行動）・見届けができる教師集団
  - ③「その場で、その行為を、簡潔に」指導することを基本とする
  - ④生徒に「生き方」を考えさせることができる
  - ⑤情報の共有が徹底され、チームとして機能し、指導・支援ができる教師集団
- (3) わかりやすい授業を構築する学校
  - ①「できた楽しさ」を与える授業を展開する（生徒の理解度への結果責任）
  - ②教師がわからせたいことを、生徒がわかる授業を展開する（本時の目標の明示）
  - ③生徒がわかったことを、**生徒の言葉でまとめる授業**を展開する（本日の学びの内容の確認）
  - ④双方向（教師と生徒、生徒と生徒）の対話による授業を展開する・・・ICTの効果的な活用
  - ⑤生徒の理解度を知り、適正な評価を実施する（授業評価の工夫と信頼できる評価・評定）
- (4) 相互感化の関係を構築する学校
  - ①教師と生徒が相互に感化しあえる
  - ②生徒同士が相互に感化しあえる
  - ③職員同士が相互に感化しあえる
  - ④職員と保護者、地域が感化しあえる
  - ⑤保護者同士が感化しあえ、地域の中で感化しあえる
- (5) 教職員の働き方改革（負担軽減）を推進する学校
  - ①管理職の意識改革
  - ②教職員の意識改革**
  - ③保護者・地域の意識改革
  - ④現行の取組を徹底させることで効果をあげる
  - ⑤現状に即しながらも積極的に、創造的に、大胆に、教育課程や日課等を見直していく
- (6) ギガスクールの推進**
  - ①生徒への指導・支援を充実させる
  - ②教職員の負担軽減を推進する
- (7) コミュニティ・スクールの推進**
  - ①生徒への指導・支援を充実させる
  - ②教職員の負担軽減を推進する

## 8 本年度の重点

### (1) 「安全」を守り、「安心」を与える学校

①感染予防と教育活動の両立

【策】学校平常化（選択と精選）

②予防と早期対応・・・いじめ 不登校 非行問題行動

【策】アンケート実施と個別面談の充実

③自転車の乗り方指導の徹底

【策】生徒の自主的活動の推進

### (2) 積極的な生徒指導を展開する学校

①不登校予防と不登校生徒への支援の充実

【策】・学校アドバイザー（専門家）による校内巡回支援とケース会議・・・予防と対応

・学校アドバイザー（専門家）による教員研修の拡充・・・教員の専門性の向上

・別室（仮称：ステップアップルーム）の開設・・・不登校生徒への多様な選択肢の提示

・ICT機器を活用した教育相談機能の充実・・・相談員の相談機能の拡充

・「生徒指導重点校加配」を活用した教員の小学校派遣・・・小中連携強化による不登校予防

・「生徒指導重点校加配」を活用した他機関との連携の更なる強化・・・予防と対応

②教育相談的手法の積極的活用・・・「傾聴」「自己選択」「自己決定」

③社会的技能や社会性の育成・・・「日常の指導」と「特設の指導」（特別活動、人権教育など）

④時間・・・教師の事前行動と見届け 生徒による呼びかけ

⑤清掃・・・完全無言清掃の実施 教師の指導と生徒による活動（呼びかけ・点検・模範清掃）

⑥生徒の自主的活動の推進・・・生徒会活動 挨拶運動 学校ファーム

【策】教員と生徒による学校生活の見直しを行う組織の設置

### (3) わかりやすい授業を構築する学校

①本時の目標の明示

②ICT機器の効果的活用と双方向の活動による「深い学び（気づき）」のある授業の構築

【策】教員研修の充実 相互授業参観の実施

③生徒の言葉による授業のまとめ（授業評価）

④新学習指導要領による評価・評定の適正化

⑤個別最適な学び 【策】習熟度に合わせて課題等の設定・提示

⑥家庭学習 【策】自習室の設置 市教委主催学力支援事業への参加促進

### (4) 相互感化の関係を構築する学校

①教師と生徒・・・生徒の「目標となる大人」としての教師＝言行一致

【策】「ありがとう」「ごめんなさい」言葉づかい 時間 承認 叱り方

②生徒と生徒・・・すべての生徒にスポットがあたる工夫

【策】学校表彰・学年表彰・学級表彰など・・・清掃・挨拶など 人間関係づくり

【策】アサーション・トレーニングやグループ・エンカウンター

③教師と教師・・・学びあい・気づきあう教師集団

【策】相互授業参観の実施

### (5) 教職員の働き方改革（負担軽減）を推進する学校

①「ノー残業デー」（水曜日）の継続

【策】清掃なし 諸活動停止 退勤時間前退勤の奨励（調整の活用）

②「ふれあいデー」（毎月給料日）の徹底・・・日にちの変更は可

【策】清掃なし 諸活動停止 退勤時間前退勤の奨励（調整の活用）

③ICT機器の活用による業務改善

【策】業務の効率化 ペーパーレスの推進 リユース・リサイクルの推進

④スクールサポートスタッフの活用 【策】資料の印刷・配布

⑤部活動地域移行への準備 【策】国・県・市の動向と先を見通した準備

⑥教育活動の優先順位と精選

【策】学校行事のスリム化

勤務時間外の教育活動の見直し（部活動朝練習の廃止など）

(6) ギガスクールの推進・・・**学習者用タブレットの効果的な活用**

- ①双方向授業のための活用（意見交換、意見共有）
- ②授業で使用する資料・ワークシートに活用（ペーパーレスと教員の負担軽減）

**e ラーニングの授業での活用促進**

- ③模範演技・演奏・実験・実習の映像による提示（学習効果の向上と教員の負担軽減）
- ④アンケート集計等に利用（負担軽減と早期対応）

**⑤学校行事等での積極的なICT機器の活用・・・業務改善と「開かれた学校」**

(7) コミュニティ・スクールの推進

- ①学校支援の拡大・・・学力向上支援    環境整備    授業補助    行事準備  
生徒指導    保護者対応
- ②生徒の活躍の場の提供・・・地域行事・ボランティア活動への参加